

生徒用

(7月4日実施、当日欠席者は後日随時実施)

令和3年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 (通信制課程) アンケート結果

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

対象	人数	回収数	回収率
活動生 全員	89	73	82%

*評価欄は上段は人数、下段は%である。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

通番	項目	A	B	C	D	E
学 校 教 育 方 針	1 本校の教育方針や指導目標について分かりやすく説明を受けている。	29	39	2	1	2
		93%		4%		3%
	2 本校に入学できてよかったと思っている。	40	27	1	1	4
		92%		3%		5%
	3 本校では、一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている。	25	35	3	2	8
		82%		7%		11%
家 庭 と の 連 携	4 本校からの連絡文書等は、保護者に届けている。	39	28	4	0	2
		92%		5%		3%
	5 家庭で学校に関する話をしている。	20	40	10	1	2
		82%		15%		3%
	6 本校は、通信やホームページ、一斉配信メールサービス(すぐメール)等を用いて、様々な情報を速やかに伝えている。	50	18	3	0	2
		93%		4%		3%
教 職 員	7 熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる先生が多い。	37	29	2	0	5
		90%		3%		7%
	8 専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い。	29	37	1	1	5
		90%		3%		7%
	9 悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い。	34	22	5	2	10
		77%		10%		14%
	10 授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い。	27	36	7	0	3
	86%		10%		4%	
	11 先生は各種文書や個人情報等を適切に管理している。	35	18	1	1	18
		73%		3%		25%
	12 本校では、体罰はない。	63	5	0	0	5
		93%		0%		7%
	13 本校の先生は、働き方改革に努めている。	19	20	0	1	33
		53%		1%		45%
学 習 指 導	14 本校では、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	26	24	1	2	20
		68%		4%		27%
	15 本校の先生は、授業や家庭学習への指導・支援等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。	21	36	5	0	11
		78%		7%		15%
	16 本校の先生は、ICT等を活用し分かり易い授業に心がけ、生徒の理解を高めようと努力している。	31	29	1	0	12
		82%		1%		16%
	17 総合的な学習(探究)の時間の内容は自分にとって有意義である。	16	27	7	5	18
		59%		16%		25%
生 徒	18 本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている。	34	25	3	1	10
		81%		5%		14%

指導	19	本校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	44	12	1	0	16
			77%		1%		22%

通番			A	B	C	D	E
進路指導	20	本校では、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。	25	26	4	3	15
			70%		10%		21%
進路指導	21	本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている。	22	18	3	5	25
			55%		11%		34%
安全管理	22	本校では生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている。	30	30	3	1	9
			82%		5%		12%
安全管理	23	本校では地震や台風等の場合の対応についての対策マニュアルを示し、説明している。	35	30	1	1	6
			89%		3%		8%
学校行事	24	本校では、外部講師の講演や様々な体験活動等の授業以外の学習機会や学校行事の有無、又はその実施方法等について、生徒の安全を最優先とし、コロナウイルス感染症対策を講じて適切に計画している。	35	23	1	1	13
			79%		3%		18%
	25	本校のホームルーム活動の時間は、今後の自分にとって意義のある内容になっている。	18	35	4	2	14
			73%		8%		19%
	26	本校では、部活動が適切な管理体制のもとに、適切に行われている。	19	21	1	1	31
			55%		3%		42%
	27	本校では、生徒会活動が活発である。	13	33	0	2	25
			63%		3%		34%
28	本校では、清掃が行き届いており校内がきれいである。	28	37	4	0	4	
		89%		5%		5%	
29	本校の施設・設備は、学習環境の面ではほぼ満足できる。	31	34	2	0	6	
		89%		3%		8%	
30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	11	26	3	5	28	
		51%		11%		38%	
学校独自項目	31	飛騨高山高等学校通信制課程は、この地域になくてはならない重要な存在である。	48	17	0	1	7
			89%		1%		10%
	32	学校の指導は、「気長・丁寧・親切」をモットーに行われている。	36	28	3	1	5
			88%		5%		7%
	33	自分が個別にもっと学びたいと思った時、申し出があれば、先生は応えてくれる。	48	12	0	0	13
			82%		0%		18%
	34	スクーリングの日は、学校に登校するのが楽しみである。	8	33	17	4	11
56%			29%		15%		
35	毎月発行される「飛騨通信」やスクーリングごとに発行される「クラス通信」は、自分にとって役立っている。	29	30	5	0	9	
		81%		7%		12%	
36	一斉配信メールサービス（すぐメール）は、有効に活用されている。	43	27	0	1	2	
		96%		1%		3%	
37	レポートに対する添削指導は、適切に行われている。	43	26	2	1	1	
		95%		4%		1%	
合 計			1141	993	110	47	410
			79%		6%		15%

令和3年度 岐阜県立飛騨高山高等学校(通信制課程)アンケート結果分析

生徒用 (7月19日実施、当日欠席者は後日随時実施)

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A : よくあてはまる
- B : ややあてはまる
- C : あまりあてはまらない
- D : まったくあてはまらない
- E : わからない

対象	人数	回収数	回収率
活動生 全員	89	73	82%

※A Bを肯定的評価、C Dを否定的評価とする。番号は、本年度の質問項目の番号である。

<肯定的評価上位5項目>

番号	項 目	本年度	昨年度
36	一斉配信メールサービス(すぐメール)は、有効に活用されている。	96%	97%
37	レポートによる添削指導は適切に行われている。	95%	95%
1	本校の教育方針や指導目標について分かりやすく説明を受けている。	93%	87%
5	本校は、通信やホームページ、一斉配信メールサービス(すぐメール)等を用いて、様々な情報を速やかに伝えている。	93%	97%
12	本校では、体罰はない。	93%	100%
・すぐメール等での連絡の頻度がコロナ禍により急激に高まったため、関係項目での評価は高い。すぐメールの登録やホームページ閲覧の習慣化も定着しつつあり、今後も有効なツールとして活用したい。面接指導の内容や個別対応についても評価は高く、総じて肯定的評価の割合が多い。			

<否定的評価上位5項目>

番号	項 目	本年度	昨年度
34	スクーリングの日は、学校に登校するのが楽しみである。	29%	32%
17	総合的な学習(探究)の時間の内容は自分にとって有意義である。	16%	13%
5	家庭で学校に関する話をしている。	15%	20%
30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	11%	12%
21	本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている。	11%	7%
・「登校が楽しみ」「家庭で学校の話をする」の項目が否定的評価の上位であることは、ここ数年と同様であるが、本年度に関しては若干減少した。総合学習やホームルーム活動などの取組に対する否定的評価が多い傾向にある。 ・コロナ禍でも、外部講師を招くなどして進路に関する行事を行ってきたが、マンネリ化の傾向もみられる。通信制にあっても、進学、就職に関する指導を更に充実させていきたい。			

<「わからない」との評価上位5項目>

番号	項 目	本年度	昨年度
13	本校の先生は、働き方改革に努めている。	45%	32%
26	本校では、部活動が適切な管理体制のもとに、適切に行われている。	42%	25%
30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	38%	22%
27	本校では、生徒会活動が活発である。	34%	12%
21	本校では、生徒の将来の希望に沿った具体的な進路指導が行われている。	34%	10%
・「働き方改革」についての項目は、生徒からは理解しにくいと考えられる。また、「部活動」については、広報活動を活発にし、参加者を増やすことによって、活動内容を多くの生徒に知ってもらうことが必要である。進路指導についてはそれぞれの学年、段階に合った指導を充実させていきたい。			